

## 内 容

- 糖尿病における新たな薬物療法
- 新しい糖尿病治療薬について
- お知らせ
  - ・診療報酬改定のお知らせ
  - ・入院時の食費、光熱水費の負担額の変更について

### 病院の理念

患者様が安心して  
医療を受けることができる  
やさしい病院を目指します。

### 基本方針

- 患者様の人間としての尊厳、人権、プライバシーを守り、快適な療養環境を提供します。
- 専門職としての自覚を持ち、常に最良の医療を提供できるように技術や知識の習得に努めます。
- チーム医療の推進により医療の質の向上を目指します

### 患者様の権利

- ①患者様には常に1人の人間として人格を尊重され医療提供者と協力関係を築きよりよい医療を受ける権利があります。(パートナーシップ)
- ②患者様には安心、安全な医療を公平に受ける権利があります。
- ③患者様には原則自分の医療を決定する権利があります。
- ④患者様には医療の内容、治療方針、検査内容、危険性などについてわかりやすい言葉で説明を受ける権利があり、且つ他の医師に意見を求める権利があります。(セカンドオピニオン)
- ⑤患者様には不当に抑制されたり苦痛を与えられたりすることなく病状等に応じて専門的な対応と援助を受ける権利があります。
- ⑥患者様には原則プライバシーを侵害されない権利があります。
- ⑦患者様にはご自分の診療録の開示を求める権利があります。

# 糖尿病における新たな薬物療法

内科医師 石岡 達司

糖尿病の治療は食事を含めた生活習慣の改善がファーストですが、どうしても血糖値が下がらない場合は、薬の力を借りる必要があります。しかし、今までの薬物療法では血糖値は下がるものの、心筋梗塞や脳卒中は防げませんでした。近年、心血管疾患を予防すると思われる糖尿病薬が使用可能となり糖尿病治療は新たな展開を迎えています。ここでは血管障害予防が期待される薬について簡単に説明します。

**メトホルミン**：フランス・ライラックは美しい花ですが、ローマ帝国時代からハーブとして愛飲されていました。その頃から、甘い香りを放つ尿をする人がこのハーブを飲むと甘い香りがなくなることが知られていました。このハーブから誘導された薬がメトホルミンで、世界中で最も多くの患者様に使用されている薬です。肝臓での糖合成を抑制するとともに筋肉、脂肪における糖の取り込みを高めて血糖降下作用を発揮します。最近では、血糖降下作用のほか抗癌作用や寿命を延ばす働きが確認されつつあります。

**インクレチン製剤**：食事が小腸を通過するときに小腸はインクレチンと呼ばれるホルモンを分泌します。このホルモンは膵臓に作用してインスリン分泌を高めます。インクレチンは数秒でDPP-4という酵素により分解されますので、この酵素の働きを弱めれば血糖降下作用が見られます。この薬がDPP-4阻害薬です。一方、インクレチンに類似した物質を合成し皮下に注射すると血糖降下作用のほかに食欲を抑えます。この薬はGLP-1受容体作動薬と呼ばれています。これらのインクレチン製剤は血糖降下作用と全く関係なく心臓や血管の機能を改善する可能性を秘めています。

**SGLT-2阻害薬**：1930年、リンゴの樹皮に血糖降下作用が発見され、約100年後に薬として開発されました。このSGLT-2阻害薬は、尿中にブドウ糖を放出することで血糖降下作用を示します。この薬の特徴は、前述の薬に比較して非常に早期から心筋梗塞や腎障害の発症を抑制することです。しかも、体重減少、脂肪肝の改善効果も存在するようですので今後の発展が期待される薬です。



SOHO MEDICAL JAZZ BANDの演奏によるジャズコンサートを4/17(日)に開催しました。今年で12回目となります。

入院、また通院されている方々、地域の方々と院内で生演奏を楽しむことが出来ました。コンサート終了後、参加された方々から帰り際に“よかった”、“涙がでた”など職員にうれしいお言葉をいただきました。音楽を聴いていると気持ちが和らげられます。来年の春も予定をしています。是非、次回のコンサートにお越しください。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。(地域ふれあい委員会)

# — 新しい糖尿病治療薬について —

薬局長 清水佳代

当院で糖尿病の治療に使用されるお薬は内服薬・注射薬あわせて約30品目を採用しています。ここでは、左に述べられた薬剤についてご紹介します。

ご質問や疑問などがありましたら、お気軽に医師へご相談ください。



## メトホルミン(メトグルコ錠)

以前は類薬で副作用が報告され敬遠されていましたが、近年、安全性・有効性が証明され第一選択薬として使用されています。

低血糖症状をほとんど起こさず、副作用として腹痛・下痢・腹部不快感・食欲不振等の症状があり、のみ始めに多くみられますが徐々に慣れていきます。

ごくまれ(10万人に3人)に、体内に乳酸がたまり酸性になってしまうことがあります。腎・肝機能が低下している方や透析の方、脱水症の際には注意が必要です。



## インクレチン製剤(DPP-4阻害薬、GLP-1受容体作動薬)

当院ではDPP-4阻害薬(内服)5品目、GLP-1受容体作動薬(注射)1品目を採用しています。

DPP-4阻害薬は、単剤では低血糖のリスクが低く他の血糖降下薬やインスリン製剤と併用できるので、頻用されています。内服回数や代謝方法に違いがあり、患者様にあったお薬を選択することができます。

当院採用のGLP-1受容体作動薬は、週に1回注射する製剤で、自宅で行うことができます。



## SGLT-2阻害薬

当院では、内服薬4品目を採用しています。どのお薬も1日1回服用します。

尿糖が増加するので、尿路感染症が起こりやすく、また尿量が増えますので水分をしっかりと摂取する事が大切です。

血糖コントロールと健康管理を兼ねて、1ヶ月に1回は受診し血液検査を行うことをお勧めします。ご心配な点があれば、ご遠慮なくご相談ください。



# お知らせ

## 診療報酬改定のお知らせ

平成30年4月1日、2年に1度の厚生労働省による診療報酬改定があったため、今までと治療内容が同じであっても、ご負担金額が変わる場合がございます。何卒、ご理解ご了承ください。

ご不明な点がございましたら、受付窓口までお尋ねください。

## 入院時の食費・光熱水費の負担額が変わります

### ●入院時の食費(1食あたり)

区 分		平成28年4月1日～	平成30年4月1日～
①	一般の方	360円	460円
②	住民税非課税の世帯に属する方(③を除く)	210円	210円
③	②のうち、所得が一定基準に満たない方など	100円	100円

※減額認定証をお持ちの方は、変わりません。

### ●医療療養病床に入院している65歳以上の方の光熱水費(1日あたり)

医療療養病床に入院している65歳以上の方	平成29年10月～平成30年3月	平成30年4月～
●医療の必要性の低い方・医療区分Ⅰの方	370円	370円
●医療の必要性の高い方・医療区分Ⅱ、Ⅲの方 (指定難病の方以外)	200円	370円
●指定難病の方 ●境界層該当者	0円	0円

※境界層該当者とは、生活保護を必要としない低所得の方を指します。

### 本院外来診療時間

		午 前	午 後
整形	月～金	9:00～12:00	15:00～18:00
	土	9:00～12:00	午後なし
内科	月・水・木	8:45～12:00	16:00～18:00
	火・金	9:00～12:00	15:00～18:00
	土	8:45～12:00	午後なし

※午前の受付は8:30～になります。  
※診療時間が変更となる場合があります。

### 駅前診療所診療時間

		午 前	午 後
整形	月～金	9:00～12:00	15:00～18:00
	土	9:00～12:00	午後なし
内科	火・金	9:00～12:00	午後なし
	木	9:00～12:30	午後なし

駅前所在地 岡山市北区錦町2-8  
☎(086)225-2311 FAX(086)225-2312

### 本院外来診療担当医師

		月	火	水	木	金	土
本院	整形	午前 横山/聖山	宮本	横山	聖山	織田	宮本
	午後	外来担当	宮本	和氣	横山	和氣	—
内科	午前	石岡	坂口	石岡/木畑	石岡	坂口	石岡
	午後	坂口	金森	坂口	木畑	坂口	—

本院所在地 岡山市中区国富4-2-63  
☎(086)272-1211 FAX(086)271-5554

### 駅前診療所診療担当医師

		月	火	水	木	金	土
駅前	整形	午前 宮本	聖山	安井	安井	横山	安井
	午後	横山	安井	安井	安井	16:00～ 宮本	—
内科	午前	—	石岡	—	木畑	石岡	—
	午後	—	—	—	—	—	—

医療法人 社団 恵風会 宮本整形外科病院 広報委員会

TEL(086)272-1211/FAX(086)271-5554 <http://www.miyamoto.or.jp/>